

お寺の子ども会 西教寺蔵本通支坊 2017.11.11 呉市中央 7-7-13 Tel 21-2798 E-mail:nikkou@saikyoji.net

徳進寺教西 だより 曜日 学校

楽しんでため・頑張りすぎてもため

中道の教え

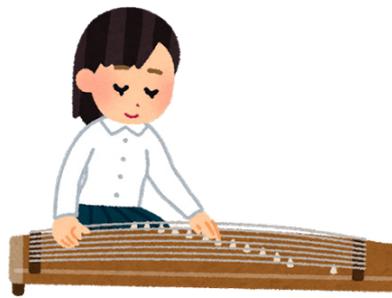
「ワーク・ライフ・バランス」って知ってますか？
仕事（ワーク）と生活・家庭（ライフ）の間で板挟みになって苦しむの現代人の課題として、バランス（調和）のとれた生活を旨とし、

実現してゆこうということのようです。あちらを立てればこちらが立たず、解決するのはかなり困難な課題のような気がしますが、そのことを意識して暮らすのとそうでないのは多少なりとも違うような気がします。

しゃかりきになって修業しても上手くいかず、ボロボロになって泣いていたソーナをいうお弟子にお釈迦さまが説かれた教えがあります。

「琴の弦は、張りすぎては妙なる響きを発することはできない、また緩やかす

ぎても快い音を発することはできない、平等な（正しい）度合いをたもっているならば、快く妙なる響きを発することができるのである。」



これは「中道」の教えと言われていて、お釈迦さまが自ら体験的に学びとられた教えです。

お釈迦さまは、今から約二千五百年前のインド（今日のネパール）、お城の王子様としてお生まれになりました。何不自由なく暮らされ、驚くことに夏に住むお城、冬に住むお城を持っておられたそうです。



まは村娘（スジャータ）に乳粥（ちちがゆ）を供養され、力をとりもどして瞑想し、菩提樹の木の下でおさとりを開かれたということです。

お釈迦さまは、快楽を求める生活ではだめ、逆に快楽を断ち切って苦行をかさねてもだめ、「不苦不楽（ふくふらく）の中道（ちゆうどう）」を実践せよと説かれました。

それは、両者の中間にも固執しない生き方でもあるのだそうです。

しかし、いかに快適に暮らしても、老いて病んで死んでゆかねばならないわが身の問題はお城では解決できませんでした。そこで、お城を出て色んな先生にもついたりしながら、さまざまに苦しい修業を六年間も続けられました。

残念なことに、それでもお釈迦さまの苦悩は解決されませんでした。お釈迦さまは苦行を断念されました。ぼろぼろになって瀕死の状態であつたお釈迦さま



美咲ちゃんが持ってきてくれたカードゲームで遊ぶ。

●次回12月、お寺の子ども会は

12月25日（月）
10時～15時

報恩講ほとけの子の集いです。

みんな遊ぶ楽しいゲームや、ビンゴゲーム、



「神ってる」じゃなくて「紙つてる」大先生、紙飛行機のギネス記録保持者が教えてください。



詳しくは別紙をどうぞ
ください。参加500円。



報恩講とは、親鸞さまに感謝しご恩に報いる法要です。